

宮城を、
あなたの
舞台に



宮城県職員募集
2026

水産

業務紹介

◆ 概要

- ・水産業の振興
- ・安心安全な水産物の流通
- ・後継者・担い手の育成
- ・漁場環境の調査
- ・加工・流通技術開発 …その他、宮城県の水産業界に関する業務に従事

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（地方振興事務所 水産漁港部、水産技術総合センター、東京事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁までの経歴 : H28.3 県内水産高校卒業
H28.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁１１年目）

- | | |
|--------|--|
| H28.4～ | 農林水産部 水産業振興課 販路開拓支援班
県産水産物のPR、県内外のイベント・商談会・加工品品評会の開催、補助金交付など |
| H30.4～ | 水産林政部 気仙沼水産試験場 地域水産研究チーム
貝毒検査、海洋水質調査、貝毒プランクトン調査、ホヤの病気診断など |
| R3.4～ | 経済商工観光部 気仙沼地方振興事務所 地方振興部 商工・振興班
企業支援全般（経営支援、人材確保、勉強会開催、御用聞き）異業種交流、高校との連携、補助金交付など |
| R6.4～ | 水産林政部 水産業振興課 企画推進班
企画調整（水産業施策関連）、生産者の活動支援、災害・防災関連など |

志望動機

◆ なぜ公務員？

- ・自分自身や会社の利益ではなく、
純粋に「宮城の水産業に対して自分ができること」を追求したいと感じており、その環境が整っているから。

◆ なぜ宮城県庁？

- ・気仙沼市及び宮城県の水産業に関わる仕事がしたかったから
- ・震災復興に尽力したかったから

これまでに担当した業務の紹介

- 県産水産物のPR、県内外のイベント・商談会・加工品品評会の開催、補助金交付など
- 貝毒検査、海洋水質調査、貝毒プランクトン調査、ホヤの病気診断など
- 企業支援全般（経営支援、人材確保、勉強会開催、御用聞き）異業種交流、高校との連携、補助金交付など
- 企画調整（水産業施策関連）、生産者の活動支援、災害・防災関連など

現在の担当業務の紹介

水産林政部 水産業振興課 企画推進班

◆ 企画調整

- ・水産業施策関連（みやぎ海とさかなの県民条例基本計画）の取りまとめ

◆ 漁業生産者の活動支援

- ・漁業協同組合青年部・女性部の活動を支援など
- ・宮城県知事認定の漁師で構成された「[宮城県漁業士会](#)」の運営など

◆ 防災関連

- ・県内で発生する地震、津波、台風などの自然災害における被害状況調査など

入庁前のイメージとのギャップ°

◆ 入庁前のイメージ

- ・全員スーツで毎日大量の資料作成
- ・県民からのクレーム対応
- ・8時～5時で何となく働く

◆ 入庁してみたら・・・

- ・出張多数、現場を大切にする
- ・周りは水産のスペシャリスト！
- ・「良くするには何をすべきか」を職場全体が本気で考えている

仕事をする上で心がけていること

◆ 信念を持つ。

自分は、誰のために、何ができるのかを常に考える。
「とりあえずやっただけ」は「成果」ではない。

◆ 県民ファースト。

県民に何を求められているのか常に情報をアップデート。
限られた人・金・時間をどう活用するか。

◆ 無理をしない。

面倒くさい作業は簡単にできるように工夫して時短・省力化、本来ウェイトを割くべき仕事に注力できるように環境を整える。全部自分がやる必要はなく、組織的に対応する。

印象に残っている業務

◆ 宮城県水産加工品品評会の開催

水産加工企業や業界団体、市町村、国など、たくさんの関係者と調整を重ねて開催している。周囲の協力があって事業が成り立っていることを実感。

品評会で受賞した商品が一躍有名に→宮城を代表するヒット商品誕生の後押しとなった。受賞した企業にも心から喜んでいただいた。

苦労が大きい分、得られる成果も大きく、やりがい・自分の成長に繋がった。

◆ 子ども向け魚食普及の開催

学校や幼稚園を会場に、漁業関係者を連れて魚食イベントを開催。子どもたちが「美味しい！」と喜んで食べてくれて、漁業者も本当に嬉しそうだった。

消費者が【生産者の顔】を見たいように、生産者も【消費者の喜んだ顔】がやりがいに繋がることを実感し、子どもたちに魚食を普及すると同時に、一次生産者らを盛り上げる一助となった。

仕事のやりがい

- ◆ 自分の経験や得意分野を活かしながら、行政、現場普及、研究分野などの様々な立場から、宮城の水産業に対して多角的にアプローチできること。
- ◆ 漁業者と直接関わる機会も多く、宮城を代表する「水産業」というなりわいを肌で感じながら、そのプレイヤーたちと一緒に宮城の海を盛り上げていけること。

職場の雰囲気

- ◆ 明るくて面白い人がたくさんいます。
- ◆ フットワークが軽く、現場主義の先輩たちが
水産職のいろはを教えてください。
- ◆ 近年は20代の若手職員が多いです。

宮城県職員の魅力

- ◆ 宮城県の水産技術職員は、水産試験研究や商品開発・販路開拓支援、水産行政、直接漁業者さんに関わる普及指導業務など、業務が多岐にわたります。
- ◆ 宮城県の水産業に幅広く関わる事ができる所が魅力だと思います。

私の公務員試験対策

- ◆ 一般科目は参考書などを読みました。
- ◆ 水産関連の勉強は、水産庁が出版している「水産白書」、宮城県が公開している水産施策関連資料（宮城の水産業パンフレット、みやぎ海とさかなの県民条例基本計画＆年次報告…等）、水産専門学校であれば教科書が参考になると思います。

先輩職員からのメッセージ

- ◆ 誰かのために一生懸命になれる素晴らしい仕事です。
- ◆ みやぎの水産業を漁業、加工、販売、広報、研究…様々な方面から支援します。
- ◆ 心強い先輩職員とともに、皆さんと一緒にお仕事ができる事を楽しみにしています。